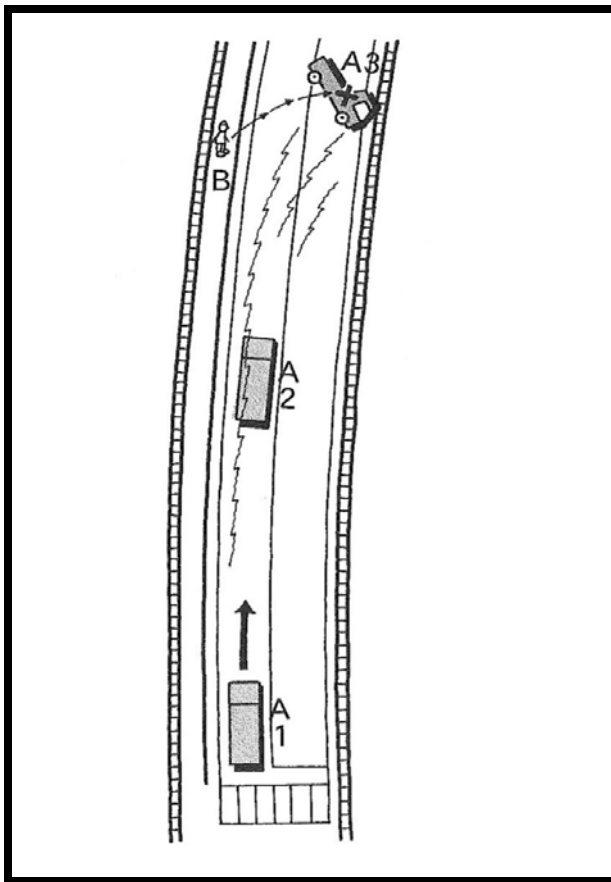


■事故の概況



事故類型：人対車両 横断中

発生日時：

当事者A：普通貨物車 40歳代 男性

当事者B：歩行者 70歳代 男性

■ 事故の概要

Aは片側1車線道路を時速約75kmで走行中、左側歩道上に立っているBに気付きましたが、特に危険を感じることなくそのままの速度で走行しつづけたところ、Bが歩車道の境界ブロックを超えて車道に出てくるのを発見しました。Aは、危険を感じブレーキと右への急ハンドル操作で回避しようとしたのですが、バランスを崩して横転した際にBに衝突しました。

Bは、道路を斜めに横断し始めたところ、Bを回避しようとして横転したA車の下敷きになりました。

■ 事故から学ぶ

この事故の主な原因は、普通トラックの速度超過です。歩行者が道路を横断する可能性を考え、事前に十分に減速をし、歩行者の動きに注意していれば、無理なく回避できたと思われます。また、荷物を積んでいる時には制動距離が延びたり、バランスを崩しやすいものなので、速度を控えめにするとともに、急なハンドル操作やブレーキ操作をしないようにすべきです。

歩行者は、道路を横断するときは必ず横断歩道を利用しましょう。やむを得ず横断歩道以外を横断する場合は、左右の安全を十分に確認しましょう。車の速度は見た目より早いものです。走行車両が見えたら、かなり先と感じても、車の通過を待って横断するようにしましょう。